



**日本共産党区議会議員**  
**こんにちは伊藤和彦です**

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952  
 足立区役所 電話3880-5111(内線4650-4654)  
 日本共産党区議団 直通3880-5770  
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

# ペロタクシーを 自転車 エコ環境促進に

## 日本共産党が予算修正案で提案

評価する機運が高まって、すでに港区、渋谷区、千代田区、

中央区などで営業しています。フランス語で自転車の意味するVÉLOとタクシーを合わせた言葉でドイツなど欧州が先進地です。



台東区上野公園付近を走行するペロタクシー

私(伊藤和彦)は、3月の予算委員会です。日本共産党の予算修正案で提案した環境にやさしいペロタクシー、木造住宅に支援を求めた質問をお知らせします。

現在銀座などで広がっている自転車によるタクシー(通称ペロタクシー)は、環境負荷がなく、料金も安く、短い期間の移動には有効です。首都圏でも都市交通として自転車を見直す動きが出てきました。繁華街では環境にやさしさを売り物にする自転車タクシーが人気を集め、住宅地でも自治体やNPOが地域住民で共用できる自転車の導入を進めています。財政難や環境志向の高まりで大規模な交通インフラ整備が難しくなる中、手軽な自転車を再



若者の雇用にも役立つ可能性も

師周辺などで実現めざして働きかけを行い、ペロタクシーを進める考えはないかと質問しました。区は、環境フロンティアなどで試験的にやってみたいと答弁しました。

初乗り料金は、500メートルまで300円、100メートルごと50円が加算される。平均時速は1〜2キロと人間の小走り程度の速さが評判です。運営は、ペロタクシー専門のNPO法人があり、そこには、橋渡しをして、道路交通法上の手続きをすれば実現できる。広告費などで採算をとるので人の多いところ、成功しています。足立でも西新井、アリオ、西新井大

温暖化の原因とされる二酸化炭素を吸収し貯蔵し成長すると言われています。35年生のスギ、直径20センチ、樹高18メートル、材積0.29立方メートルの場合、伐採した樹木であっても68キログラムの二酸化炭素を貯蔵している。試算されて木造住宅一戸あたりの貯蔵量は、鉄骨プレハブ住宅の4倍、の六炭素トンと試算されており、「木造住宅を増やすことは市街地にもつひとつの森林を作る効果がある」と専門家から言われています。

森林は地



球

## 「木造住宅を増やすことは市街地に森林を創る効果がある」 環境にやさしい木造住宅に支援を

最近、輸入木材依存ではなく、国産の木材の利用促進にむけて、国産スギなどの新しい木材利用技術の開発が茨城県つくば市 森林総合研究所などで進んでいます。静岡県島田市の行って



静岡県島田市の行って

## 生活相談・法律相談

お気軽にお電話をください。相談は無料。法律相談は弁護士を紹介します

日本共産党区議団 3880 5770  
 伊藤和彦 自宅 3859 6952  
 携帯電話 070-6642 2851

林業の振興を図るため、「新築住宅補助制度」を足立でも取り入れるよう求めました。島田市は、市に登録した建設業者に発注して国産木材を一定割合以上使用し、市内に新築もしくは戸建て住宅を取得した人に対し、延べ床面積1平方メートル当たり、5000円(上限100万円)の助成を市内商店街の金券で補助するもの。2003年は53件、5000万円の実績があり、7%の市内転入があり、定住策としても好評です。次年度は、倍の予算を計上し、静岡県では同様の事業を浜松市、静岡市が実施しています。

地球温暖化がすすみ、経済危機が深刻化するなか、わが国の林業の自給率向上にもつながる木造住宅への支援、住宅産業を支援することは重要な課題です。区としてもつとした制度を取り入れる考えはないか。提案しました。



# UR花畑団地「再生」事業の「まちづくり協議会」を設置

## 区域の町会長らで構成し 意見交換を行い事業すすめる

このほど、第1回花畑団地周辺地区まちづくり協議会が設立され、2月24日、花畑区民事務所で行われたその報告をします。

「まちづくり協議会」は、町会、自治会の会長、行政の職員など24人で構成し、本ザーバとして地元区議会議員4名が参加、伊藤和彦区議も参加、合計28人です。

協議は都市再生機構から、従来の建替えではなく、一部を更地にして新たな土地利用に転換していく、残りの部分は既存の建物を修繕などして再整備する「事業区域のまちづくりのイメージ」についての報告がありました。(下の図参照)

はじめに私は多数の居住者から相談を受けているので、住み続けたいという居住者が多く、高齢化も進んで住宅の上階の人は1階に移りたくてもできないので、URは柔軟に対応し、居住の安定に配慮す

べきではないかと質問しました。URの担当者は居住者には今まで2回説明会を実施した。現地には、箇所の相談所を設け、居住者の方の相談を受けている」と答えました。居住者のごときは終わったことで「まちづくりを進めよう」ということだ。

協議では「若年世代を呼び込むようにしたい」「バス路線の再編が必要」「商業機能再編に地元元商業者とも協議をなごうが出されました。

### 地区まちづくりを 22年度に策定

今後の協議会の進め方については、次回までに、町会自治会の意見をまとめる。各町会自治会(部会)の取り扱いについて検討する。定立区)バス路線再編の検討する。定立区・UR)

第2回協議会は4月中旬、第3回協議会は5月連休



明けに協議を開くことが決まり、地区まちづくり計画を平成22年度に策定するつもりです。内容は、3月の区議会建設委員会にて花畑団地再生事業の進捗状況について報告がありました。

区議会(3月24日)各会派一致して意見書が採択されました。

「UR賃貸住宅(旧公団住宅)居住者の居住を安定を求める意見書」

内容は、都市再生機構の事業の見直しにあたっては、UR賃貸住宅の存続と役割の重要性を明確にし、居住者の居住の案対策を推進すること。2、UR賃貸住宅が「住宅セーフティネット」として位置づけられ(略)住み続けられる制度に改めるための検討を行うことなど、4項の意見書です。

### 医師の診断書があれば 階下移転できます

現在UR賃貸住宅にお住まいの方が高齢、障害、疾病、要介護などで階段の昇降に支障をきたしたい方は、同一団地内の上階から1階の住宅のあっせんができます。花畑団地ではこの制度が停止されていますが、例外として医師の診断があればできます。

くわしくは伊藤和彦まで  
電話・3880-5770 区役所

ご意見、要望をお寄せください

